

「第21回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書

（2021年11月調査）

2022年3月30日

〔はじめに〕

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2021年11月に実施した「第21回愛媛県勤労者定期観測調査」の結果を報告します。調査にご協力いただきました加盟団体・事業所様、並びにご回答いただきました皆様にお礼申し上げます。

〔調査概要〕

- ① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する99団体・事業所の勤労者
- ③ 調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年2回5月・11月、第21回調査2021年11月1日～11月30日
- ⑤ 回答数：第21回調査登録者数：450名、回答者数：338名、有効回答数：337
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

〔総括〕

今回第21回（2021年11月）調査では、愛媛県内の勤労者が見た県内の景況は、前回第20回（2021年5月）調査に続いて回復し、コロナ禍前の水準に戻った。ただし、製造業と非製造業の業況で差が開いた。労働時間や賃金収入の回復が見られた。一方、身の回りの物価について、「上がったと思う」という回答が大幅に増えた。

〔主な調査結果〕

- (1) 景況 愛媛県内の勤労者が見た県内の景況は前回調査時に続いて回復（8.9ポイント上昇） p.3
- (2) 身の回りの物価 「上がったと思う」の回答・同割合が大幅に増加 p.6
- (3) 実労働時間 全体の実労働時間DIは前回調査時に続いて上昇（11.1ポイント上昇） p.7
- (4) 世帯全体の支出 世帯支出DIは上昇（9.0ポイント上昇） p.10
- (5) 仕事の不安・悩み 「将来の収入」「毎月の収入の少なさ」の割合が多かった。 p.13
- (6) 生活の不安・悩み 「預貯金など資産の少なさ」「自分や家族の健康」が多かった。 p.13
- (7) 特別調査「短観調査の回答方法について」 調査方法として、紙の調査票を希望する回答が多く、オンライン調査への変更はまだ難しい結果になった。 p.14

第21回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	337
------------	-----

性別	人	%
男性	241	71.5
女性	96	28.5

年齢構成	人	%
20歳代	34	10.1
30歳代	94	27.9
40歳代	107	31.8
50歳代	88	26.1
60歳以上	14	4.2

家族構成	人	%
1..あなた(①)	53	15.7
2..あなた/親(①④)	40	11.9
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	5	1.5
4..あなた/子ども(①③)	13	3.9
5..あなた/子ども/親(①③④)	4	1.2
6..夫婦(①②)	34	10.1
7..夫婦/子ども(①②③)	166	49.3
8..夫婦/親(①②④)	4	1.2
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	11	3.3
10..その他(それ以外の組み合わせ)	7	2.1

居住地	人	%
東予	149	44.2
中予	147	43.6
南予	37	11.0
その他	4	1.2

勤務地	人	%
東予	155	46.0
中予	141	41.8
南予	41	12.2

勤続年数	人	%
5年未満	30	8.9
5年以上15年未満	118	35.0
15年以上25年未満	92	27.3
25年以上	97	28.8

勤続年数

平均(年)	17.8
中央値	16
最頻値	10

従業員数	人	%
9人以下	18	5.3
10～49人	26	7.7
50～99人	18	5.3
100～499人	59	17.5
500～999人	69	20.5
1000人以上	147	43.6

業種	人	%
民間製造業	126	37.4
民間非製造業	157	46.6
公務員	21	6.2
その他(医療、福祉団体等)	33	9.8

就業形態	人	%
正規	311	92.3
非正規	26	7.7

労働時間	人	%
20時間未満	5	1.5
20～30時間未満	11	3.3
30～40時間未満	79	23.4
40時間	47	13.9
41～50時間未満	136	40.4
50～60時間未満	41	12.2
60時間以上	18	5.3

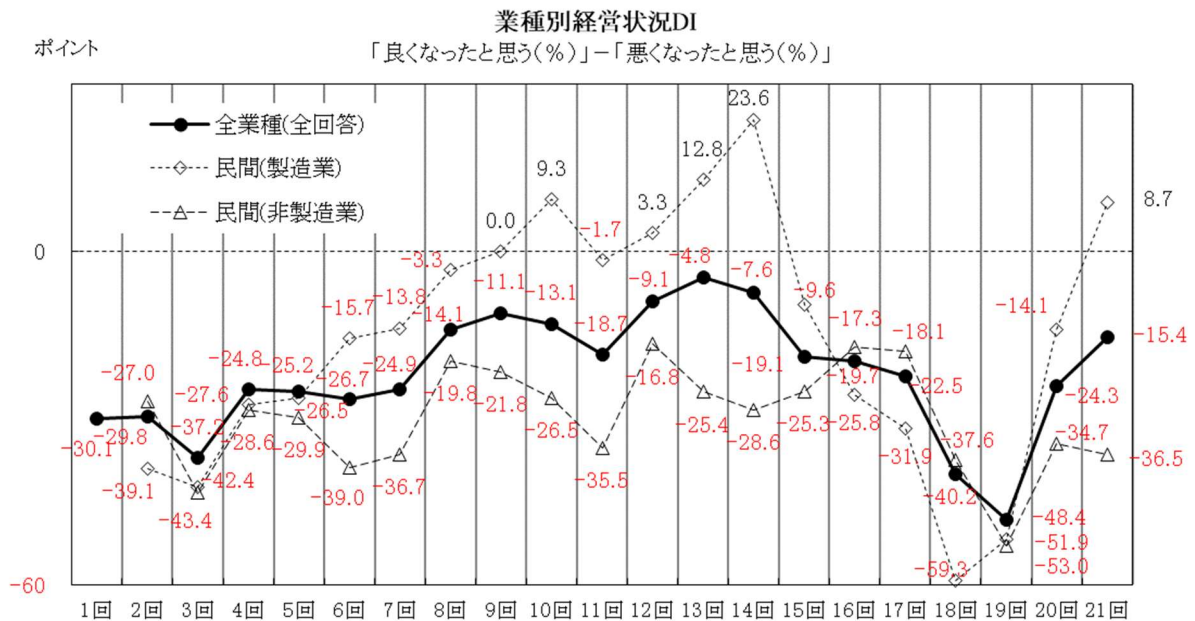
年収	人	%
200万円未満	16	4.7
200万円～400万円未満	84	24.9
400～600万円未満	134	39.8
600～800万円未満	81	24.0
800万円以上	21	6.2
NA	1	0.3

世帯の就労状況	人	%
あなただけが働いている	121	35.9
あなた以外に、フルタイム就労者あり	121	35.9
あなた以外に、パートタイム就労者あり	75	22.3
あなた以外に、フルタイム・パートタイム就労者あり	20	5.9

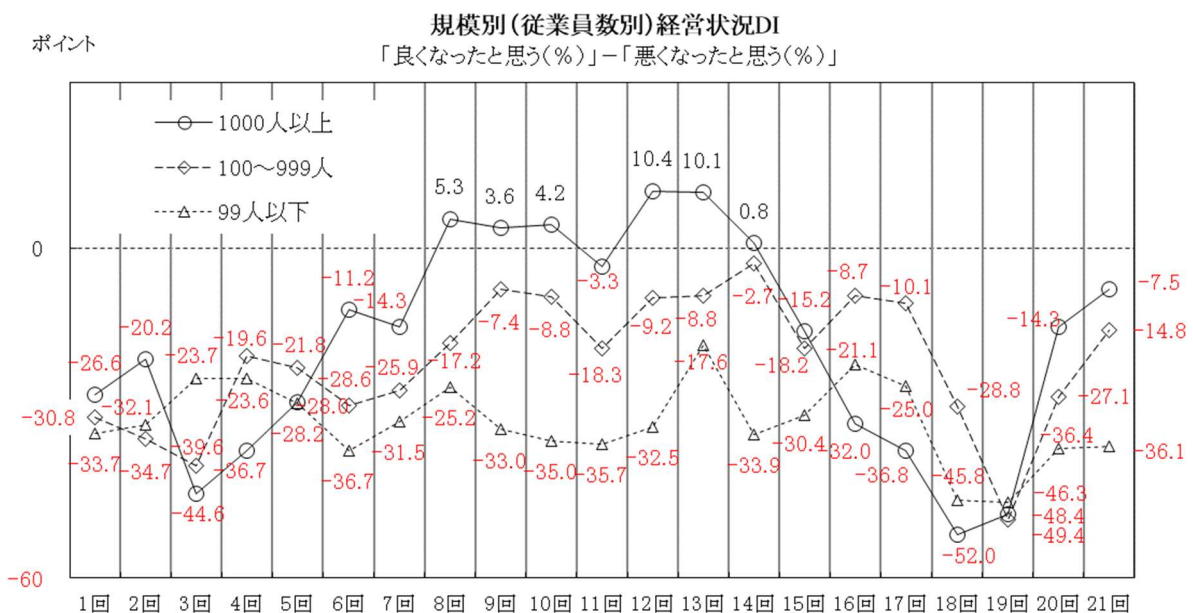
〔調査結果〕

1. 勤め先の経営状況

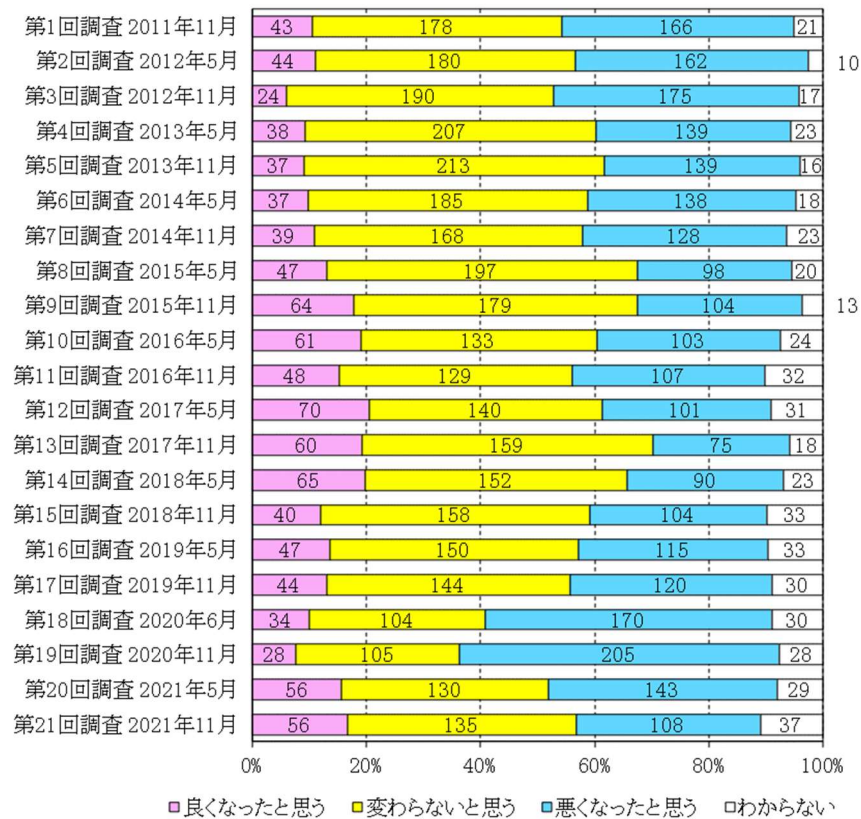
全業種で見た経営状況DIは上昇した（8.9ポイント上昇）。業種別では、製造業のDIが大幅に上昇し（22.8ポイント上昇）、規模別では、従業員数100～999人のDIが上昇した（12.3ポイント上昇）。勤務地別の勤め先の経営状況は、前回調査と同様に差が見られ、東予、中予、南予の順で回答内容が良かった。「勤め先の経営状況」の回答と「世帯の暮らし向き」の回答との間に強い関係が見られた。



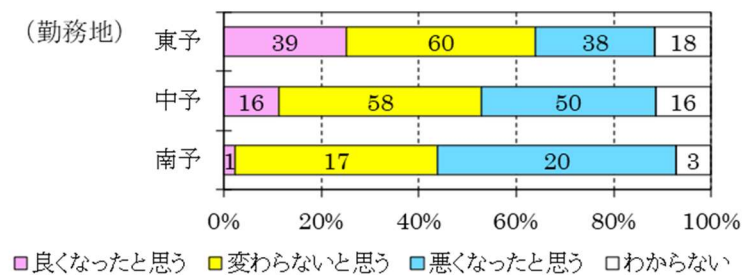
(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。



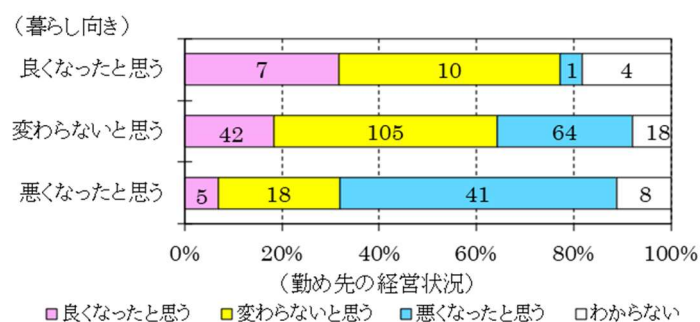
問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)



勤務地別に見た勤め先の経営状況(1年前と比べて)



世帯の暮らし向き と 勤め先の経営状況(1年前と比べて)



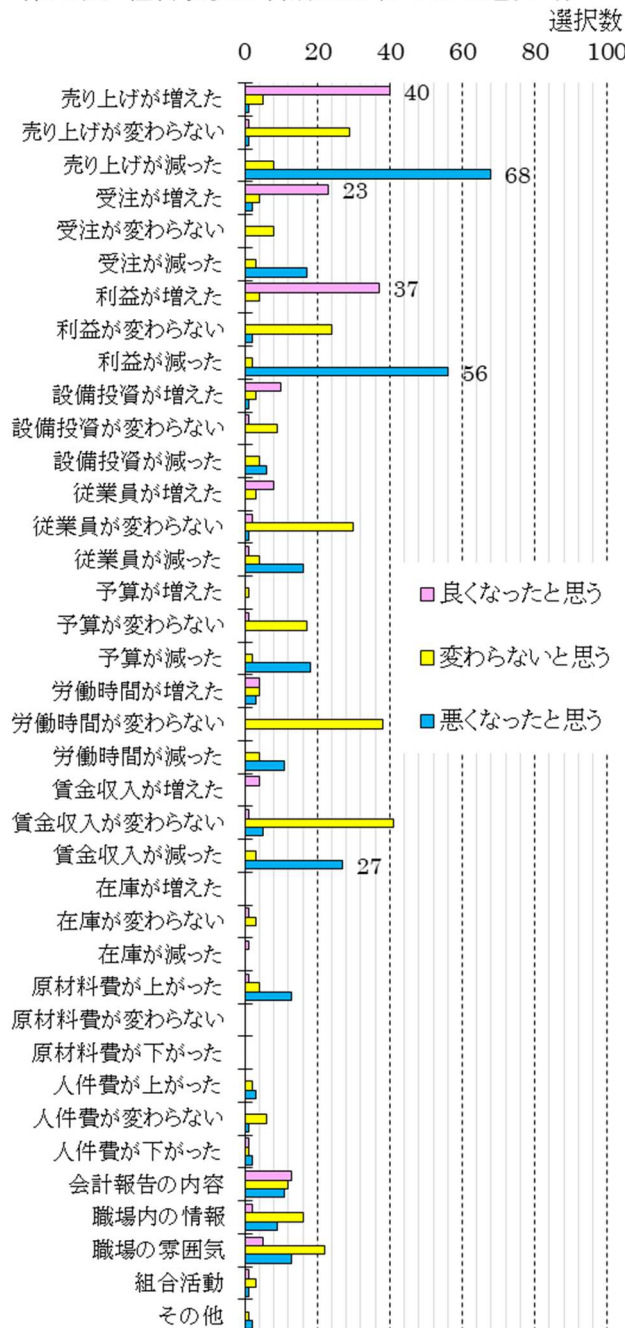
1-1. 勤め先の経営状況について、「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由

今回の第21回調査では、「良くなったと思う」の理由の上位3つは、前回同様に、「売り上げが増えた」「利益が増えた」「受注が増えた」になった。一方、「悪くなったと思う」の理由の上位3つは、「売り上げが減った」「利益が減った」「賃金収入が減った」になった。

今回第21回調査



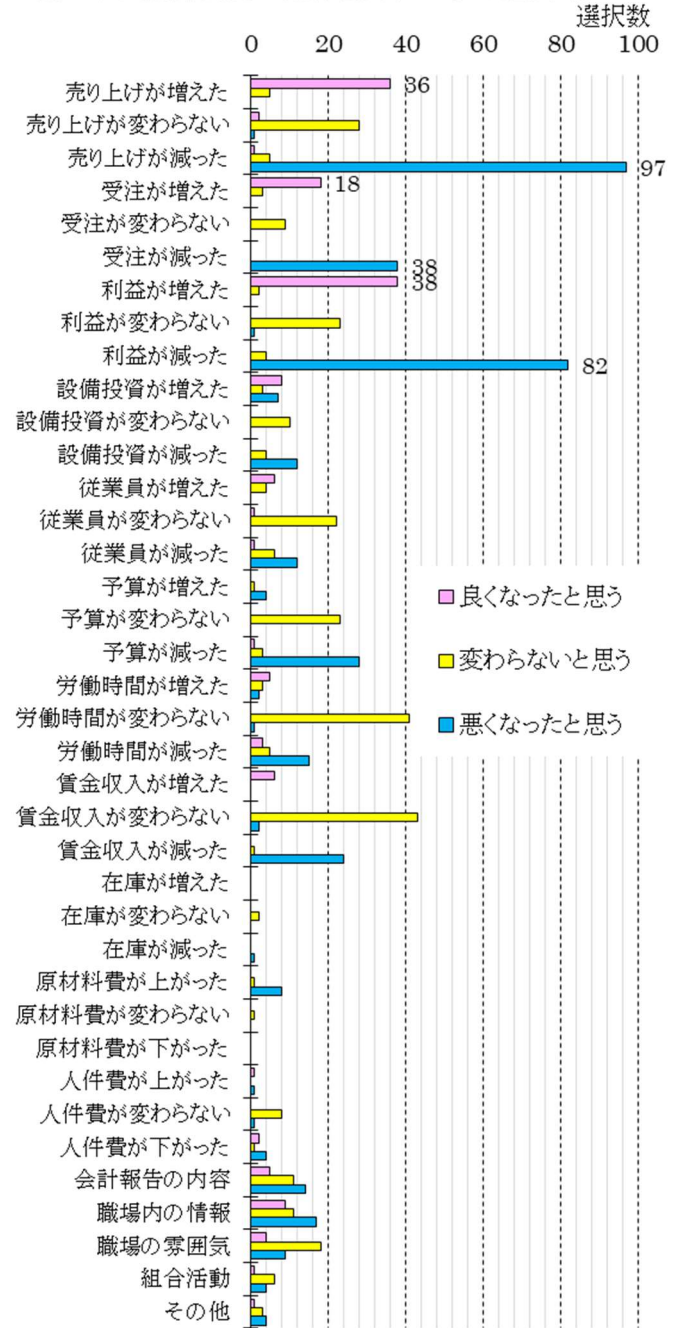
第21回 経営状況の判断理由(3つまで選択可)



前回第20回調査

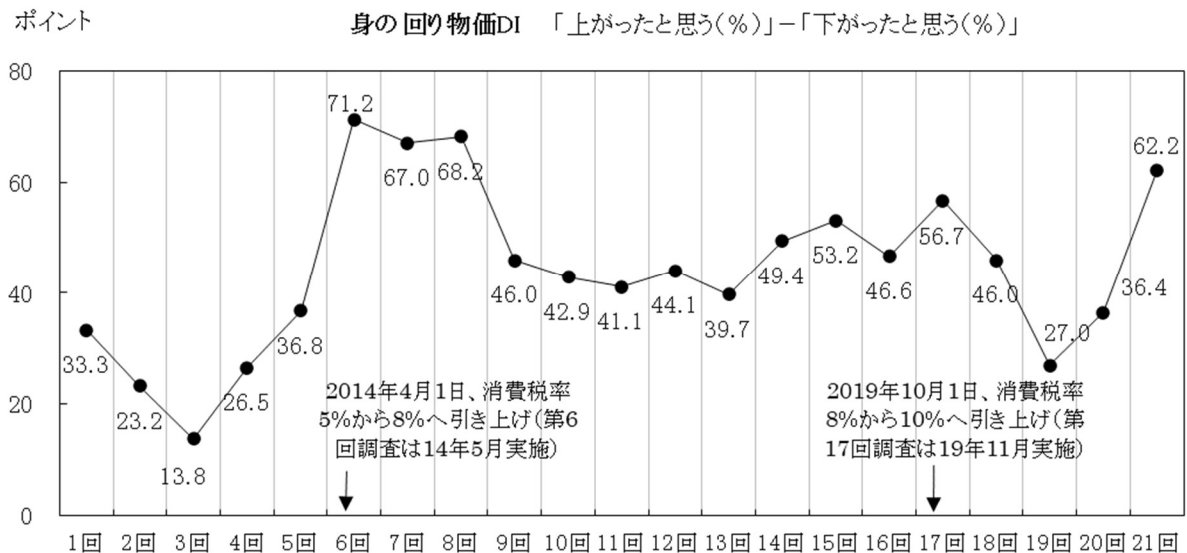


第20回 経営状況の判断理由(3つまで選択可)

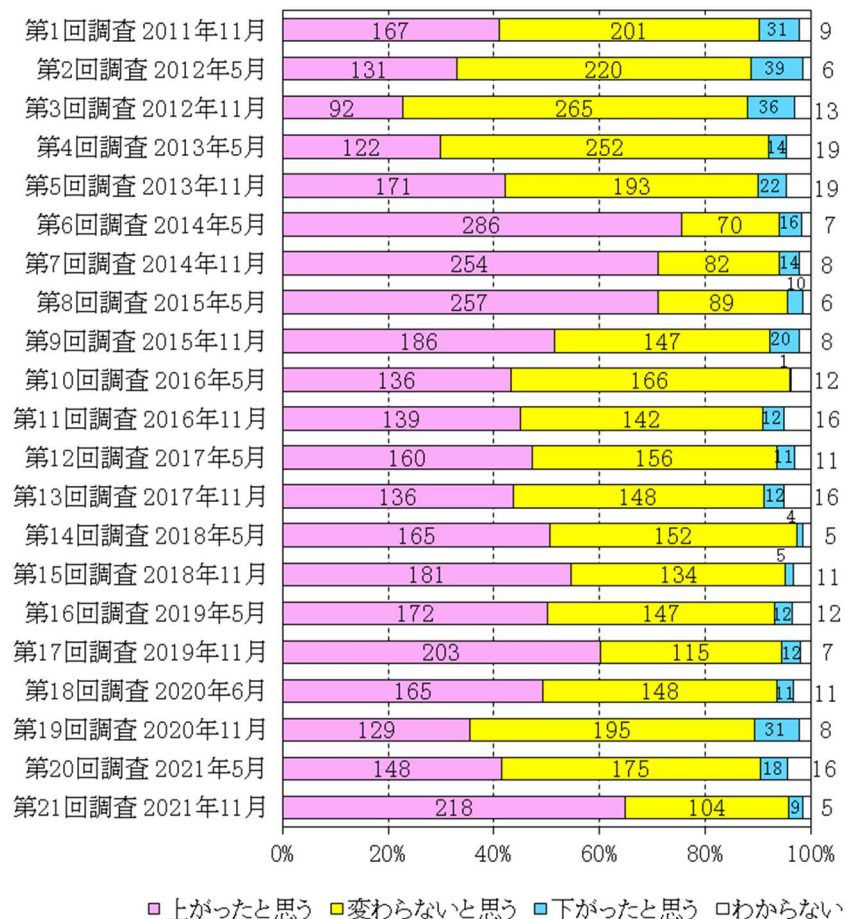


2. 物価

身の回り物価DIは、大幅に上昇した（25.8ポイント上昇）。前回第20回調査と比べ、「上がったと思う」が6割を超えてきた。

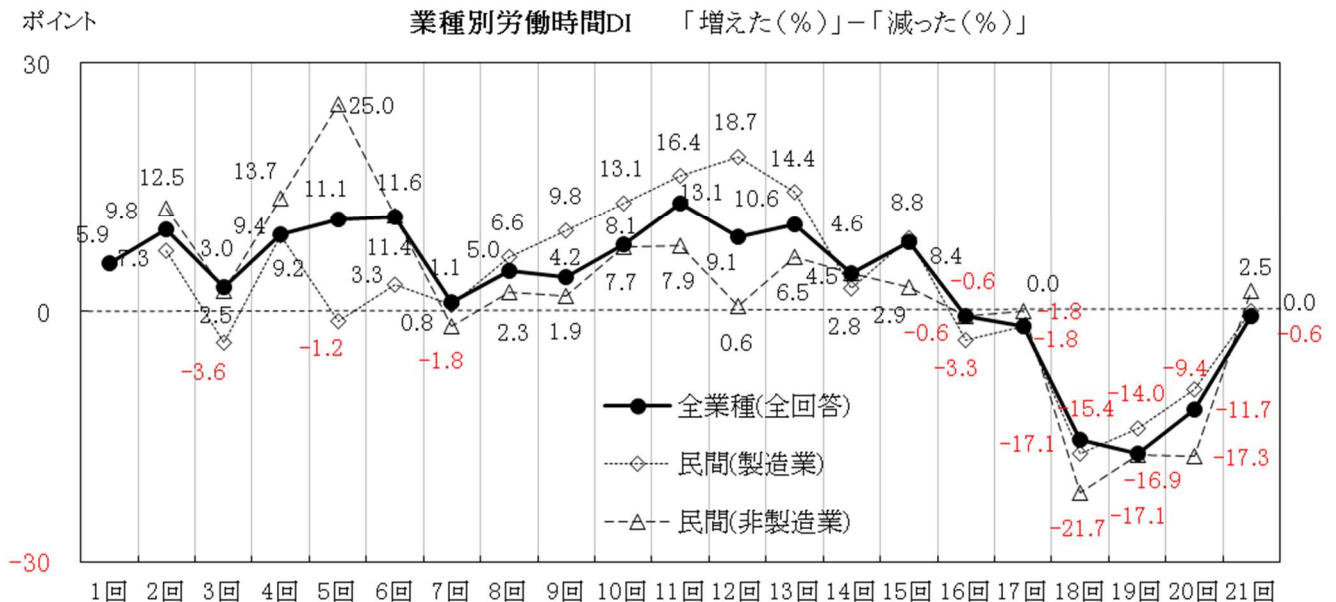


問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



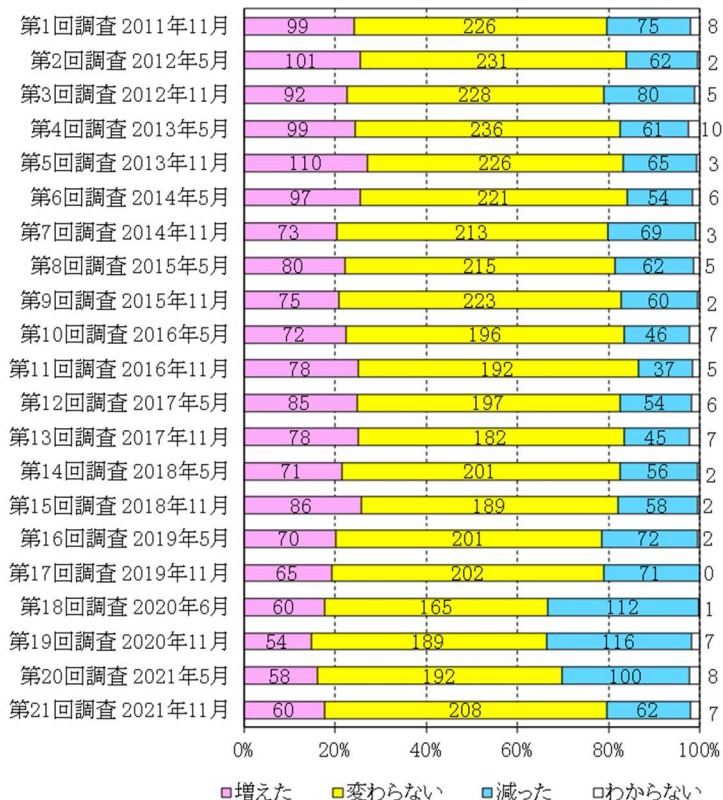
3. 実労働時間

全業種で見た労働時間DIは大幅に上昇した（11.1ポイント上昇）。労働時間が増えた理由として、「経営状況」（29）の選択数が最も多かった。労働時間が減った理由として、「経営状況」（25）、「働き方改革」（22）の選択数が多かった。

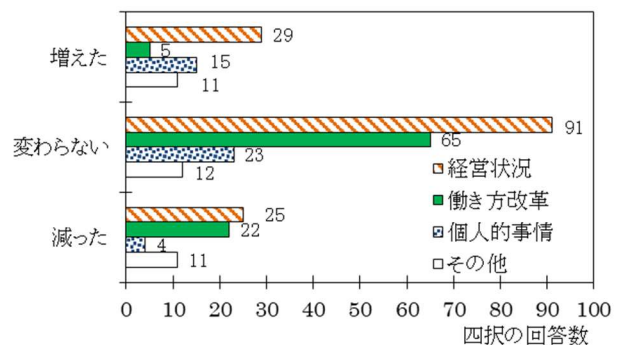


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

問3 最近の実労働時間(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)

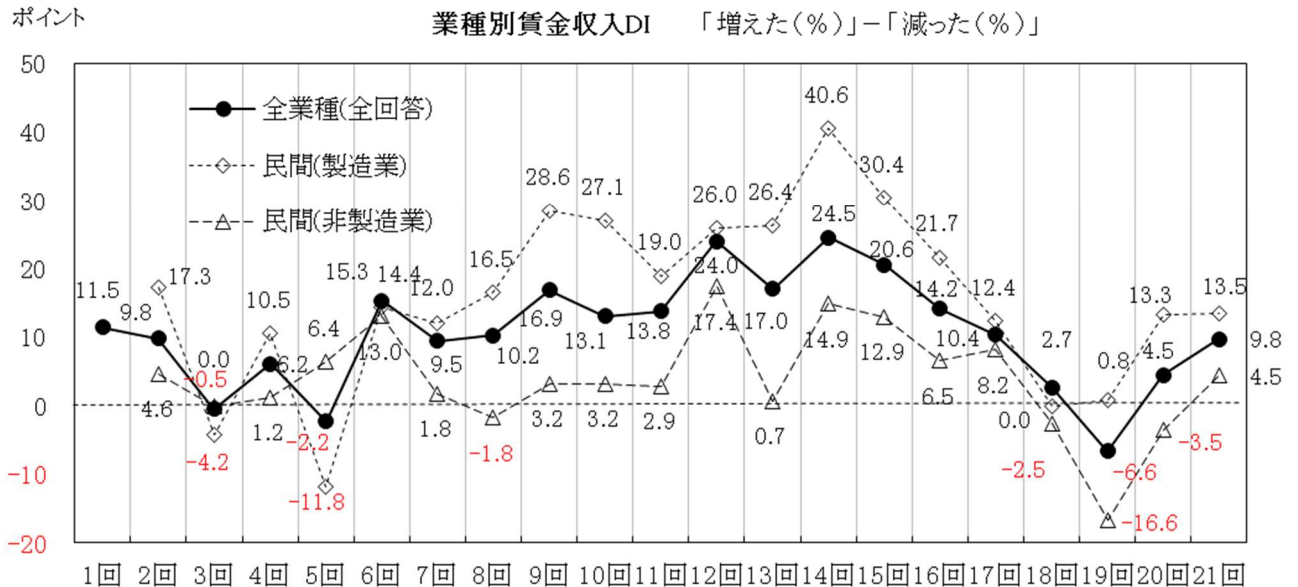


労働時間の増減別に見た変化の理由



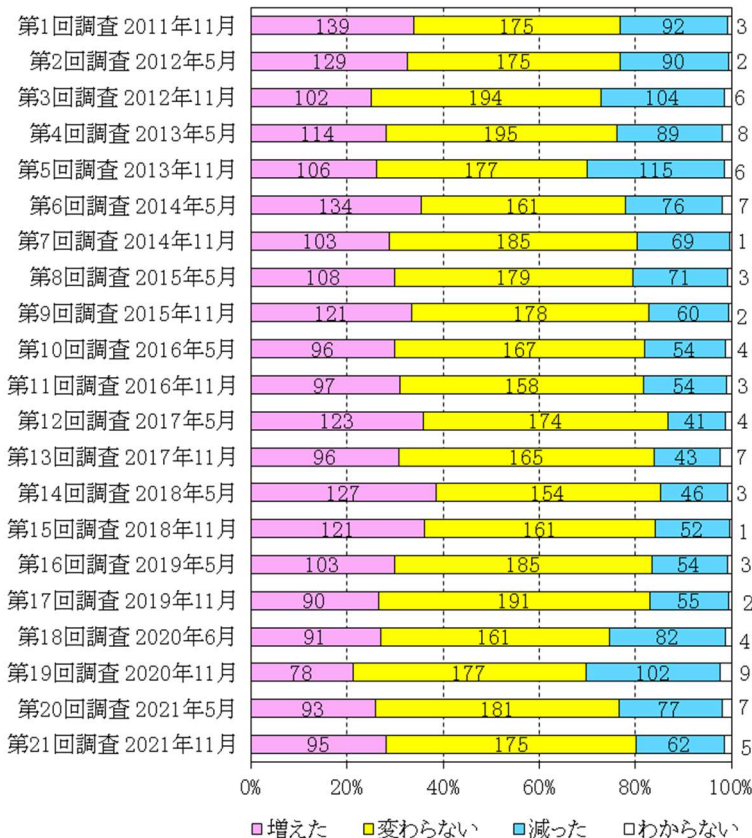
4. 賃金収入

全業種で見た賃金収入DIと非製造業の賃金収入DIが上昇した(それぞれ5.3、7.9ポイント上昇)。これまでの調査同様、年齢が低い層ほど「増えた」の割合が高く、「減った」の割合が低い。業種別では、回答に大きな差は見られなかった。

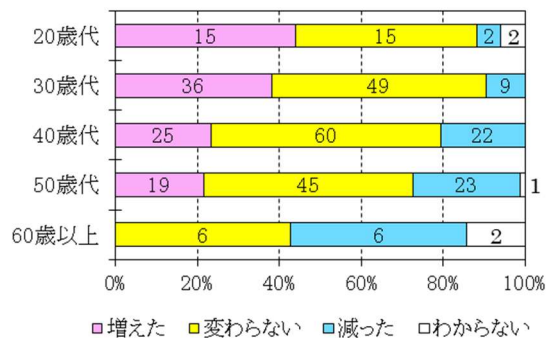


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

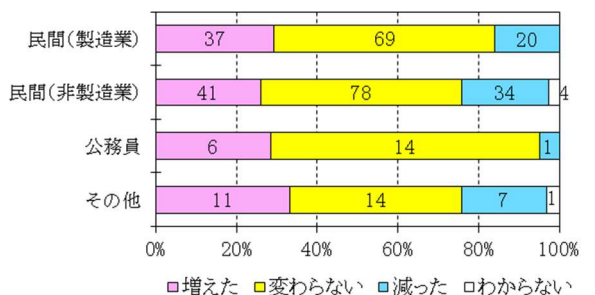
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



年齢別に見た賃金収入の変化(1年前と比べ)

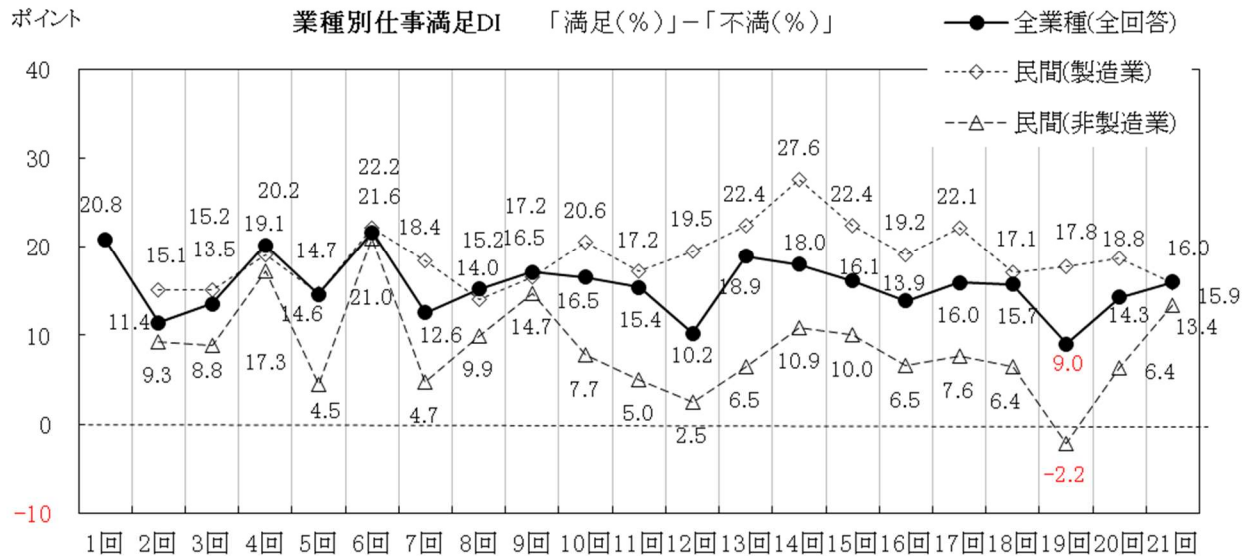


業種別に見た賃金収入の変化(1年前と比べ)



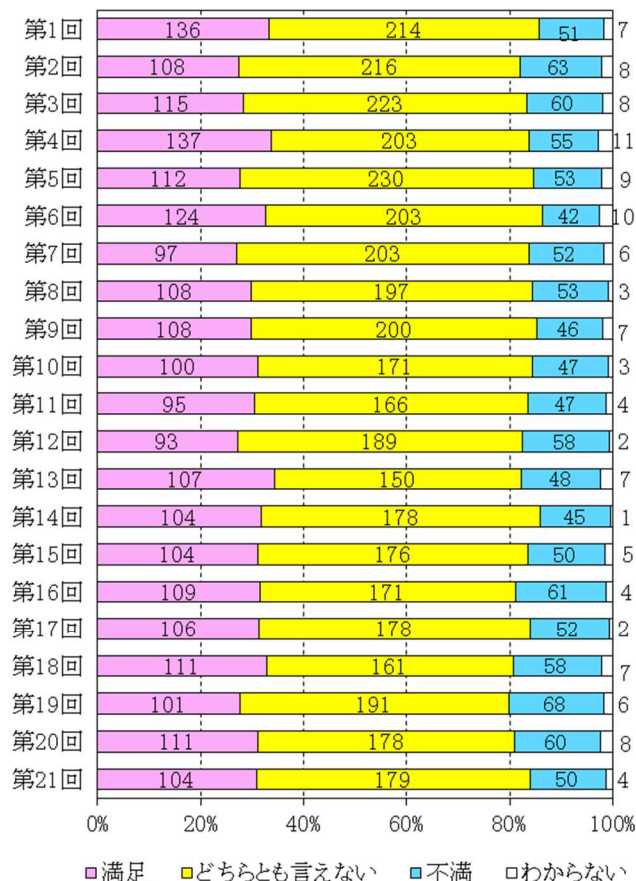
5. 勤め先の仕事の満足感

全業種で見た仕事満足DIは僅かに上昇した（1.7ポイント上昇）。製造業のDIが下落し、非製造業のDIが上昇したことにより、これまで見られた製造業と非製造業でのDIの差がほぼ解消した。従来の調査と同様に、「勤め先の仕事の満足感」と「勤め先の経営状況」との間に関連性が見られた。

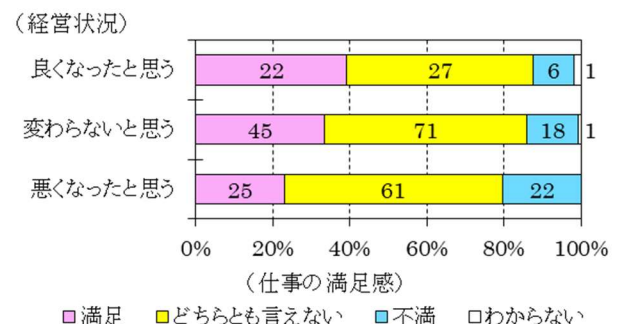


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

問5 現在の仕事の満足感



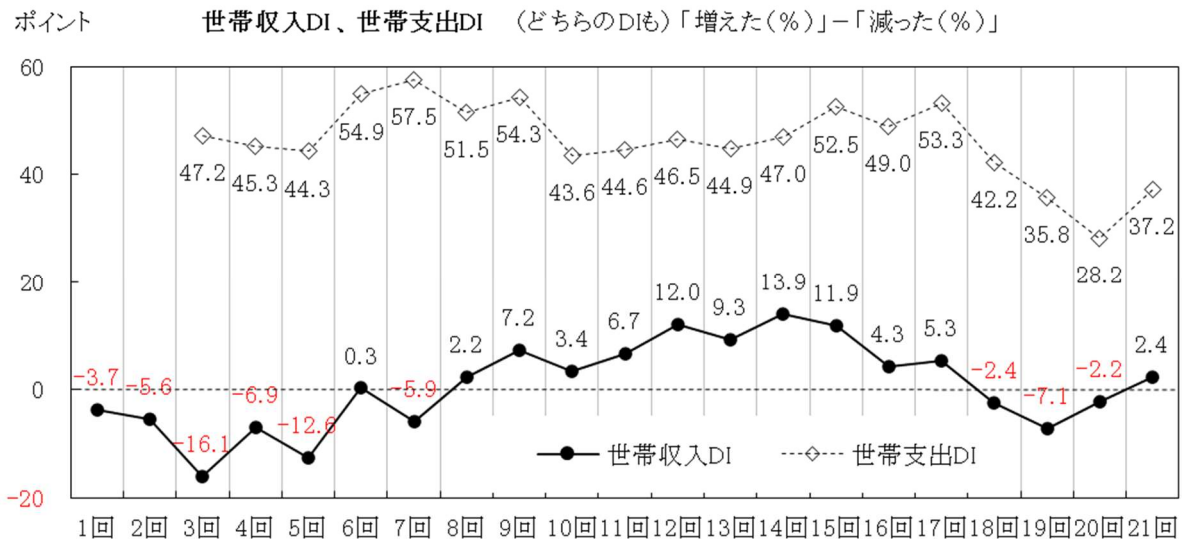
経営状況別に見た仕事の満足感



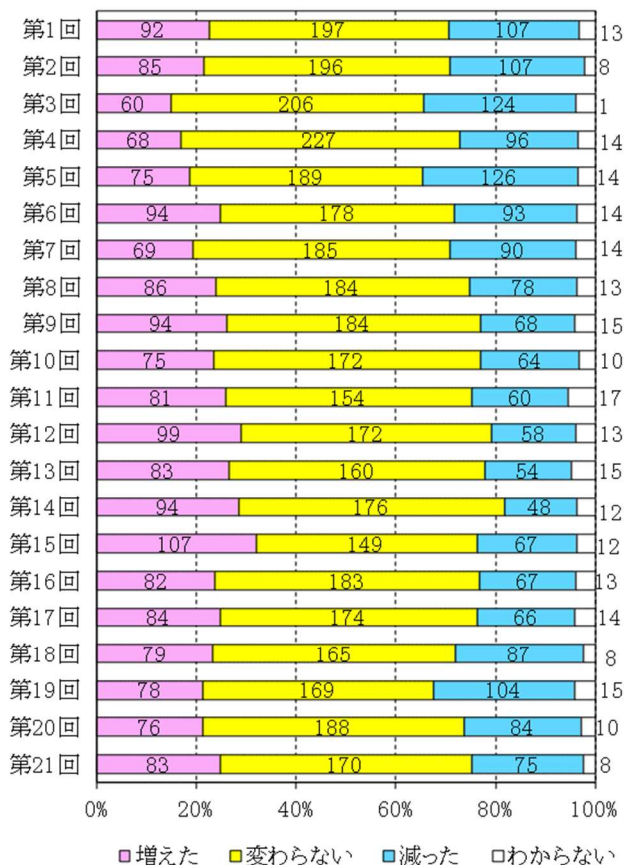
〈暮らし向きについて〉

6. 世帯全体の収入、支出（問7、問8の結果）

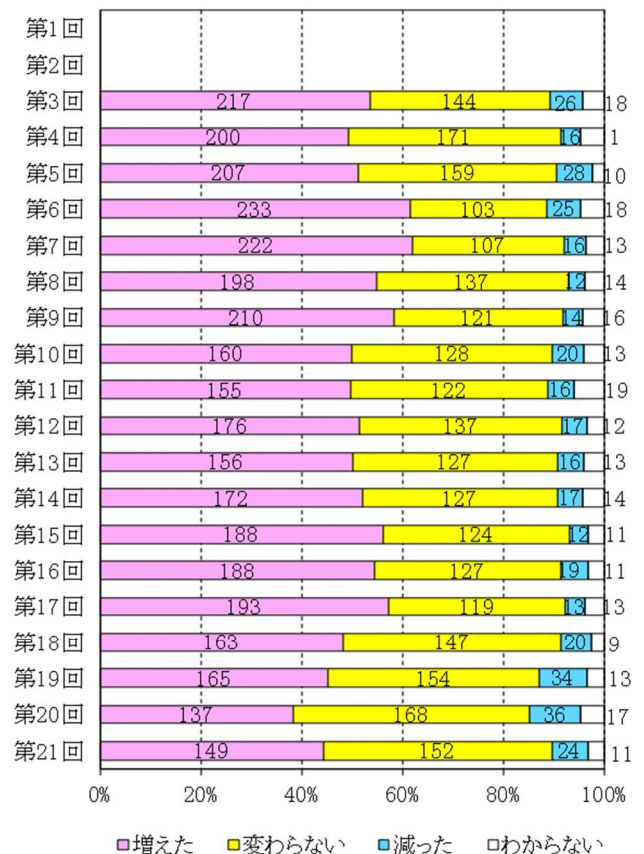
世帯収入DIは上昇した（4.6ポイント上昇）。一方、第18回調査以降3回連続して、世帯全体の支出が「増えた」という回答の割合が減り続けていたが、今回調査では、「増えた」の回答が増え、その結果、世帯支出DIは反転上昇した（9.0ポイント上昇）。



問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



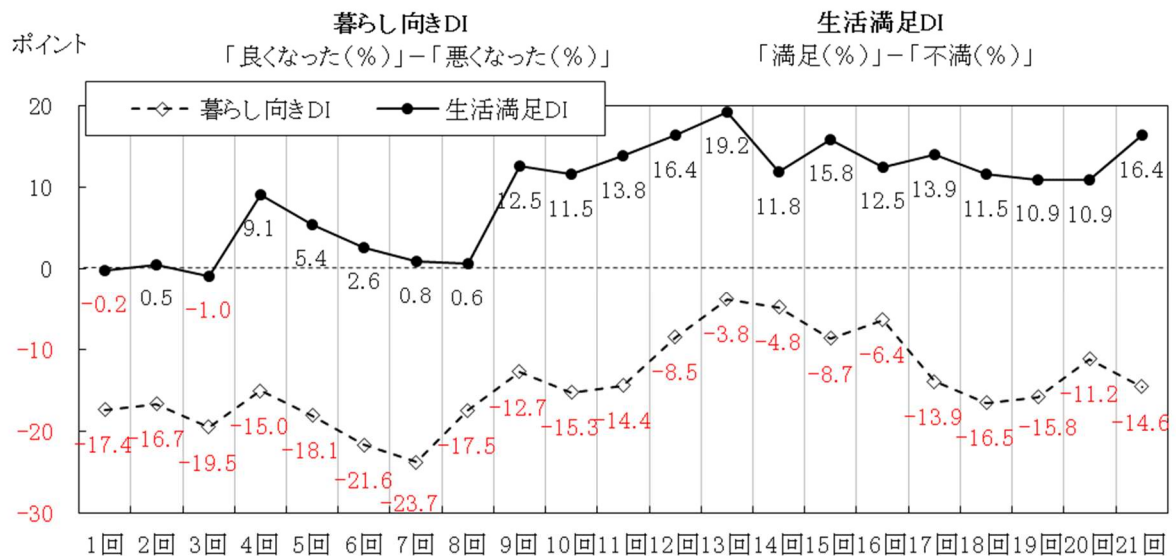
問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



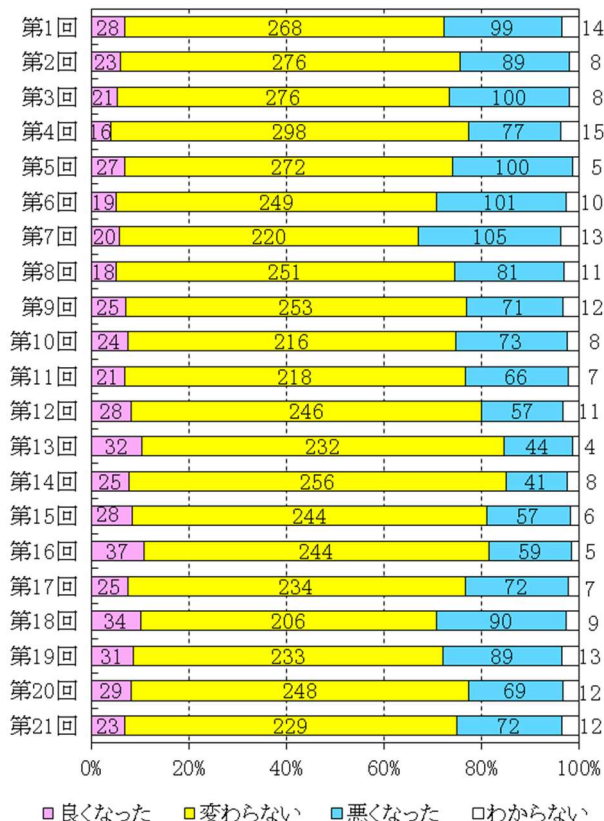
7. 世帯の暮らし向き（問9の結果）、生活の満足感（問10の結果）

世帯の暮らし向きDIは下落した（3.4ポイント下落）。前回調査と同様に「世帯の暮らし向き」は、回答者自身の「賃金収入の増減」（減った）との間に特に強い関連性が見られた。

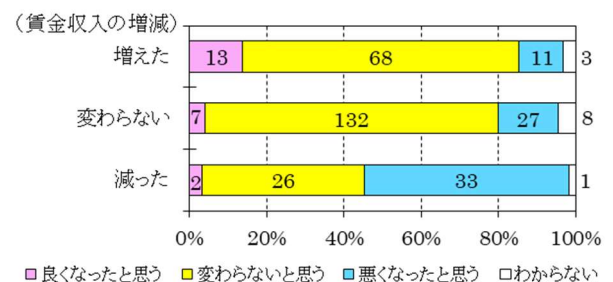
生活満足DIは、大きな変化がないのが近年の特徴であったが、上昇した（5.5ポイント）。これまでの調査結果と同様に「年収」「賃金収入の増減」「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との間に関連性が見られた。



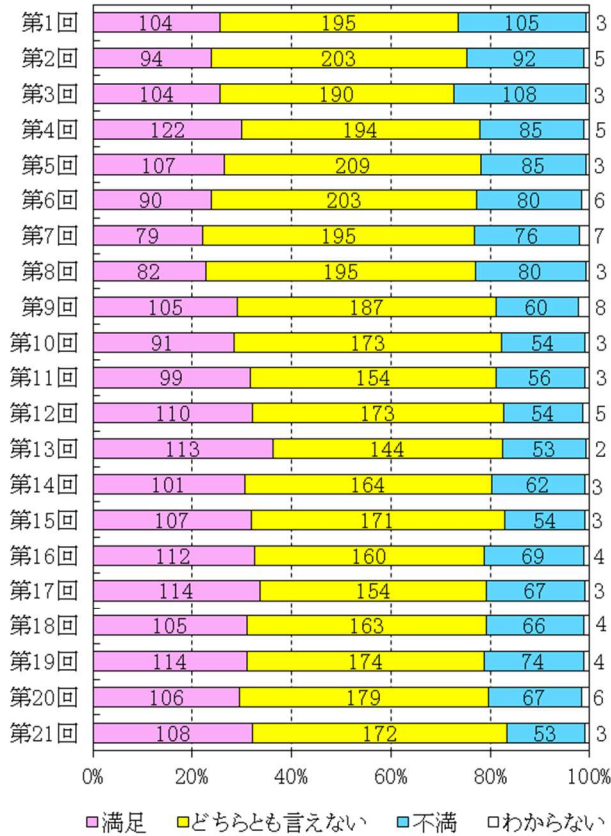
問9 世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



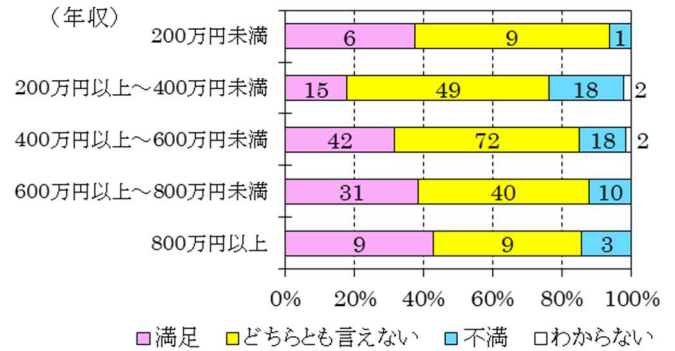
賃金収入の増減別に見た世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



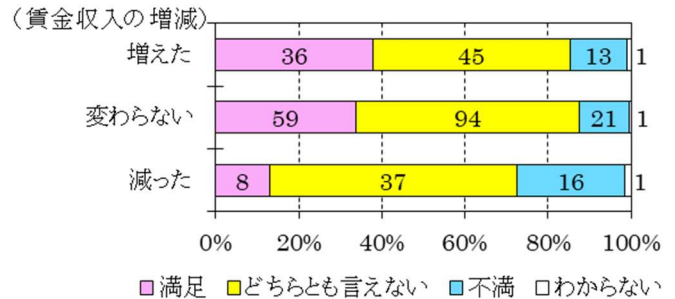
問10 現在の生活の満足感



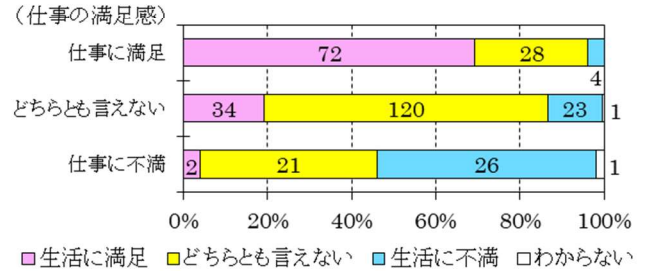
年収別に見た仕事の満足感



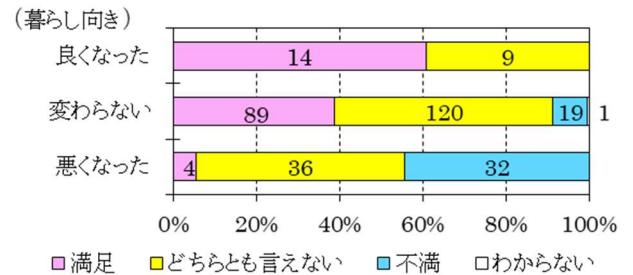
賃金収入の増減別に見た仕事の満足感



仕事の満足感と生活の満足感



世帯の暮らし向きと生活の満足感

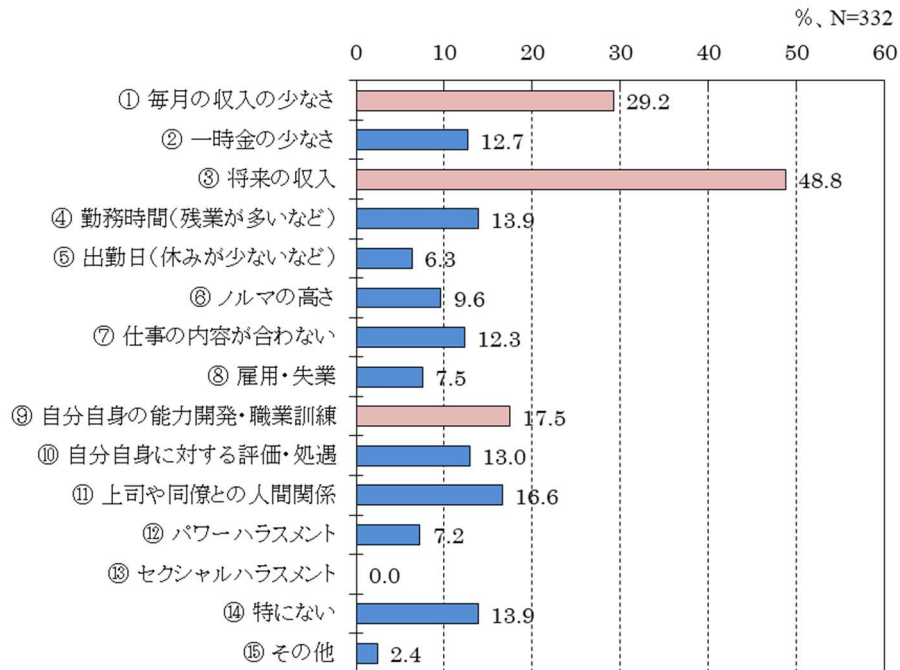


9. 仕事の不安・悩み（問6の結果）、生活の不安・悩み（問11の結果）

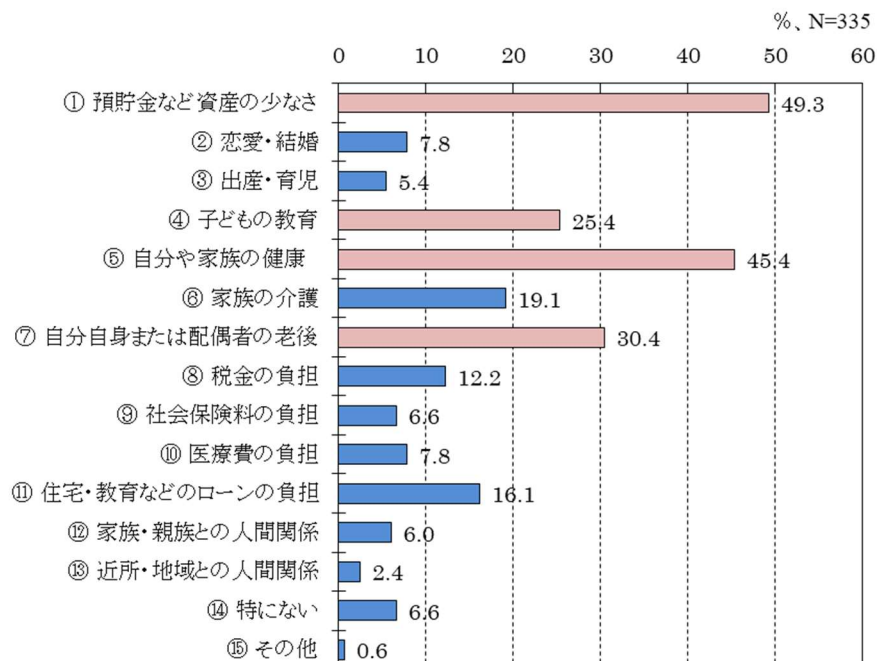
仕事に関連した不安・悩みとして、「将来の収入」48.8%が最も多く、「毎月の収入の少なさ」29.2%、「自分自身の能力開発・職業訓練」17.5%が続いた。

生活に関連した不安・悩みとして、「預貯金など資産の少なさ」49.3%、「自分や家族の健康」45.4%、「自分自身または配偶者の老後」30.4%、「子どもの教育」25.4%と多かった。

問6 仕事に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと(3つまで選択可)



問11 生活に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと(3つまで選択可)



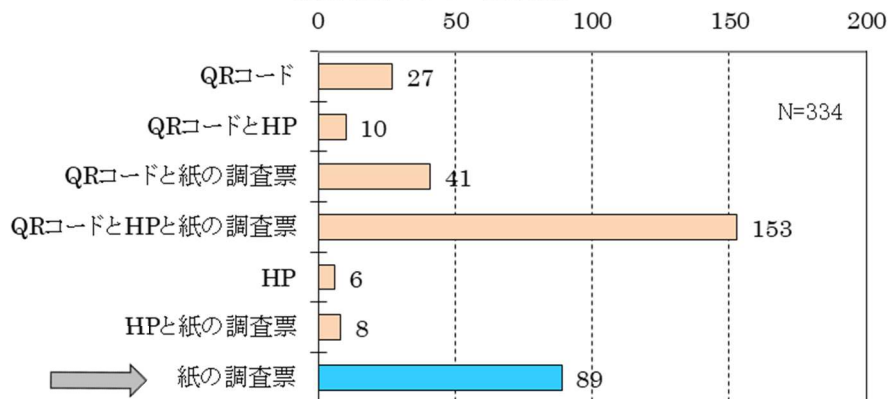
＜特別調査＞ 「愛媛県勤労者定期観測調査（勤労者短観）」の回答方法について

（問12，問13の結果）

昨今、行政や民間が行う調査では、オンライン調査が主流となりつつあります。私たちの「勤労者短観調査」においても、紙ベースから、オンラインベースへの変更を検討しております。今回の特別調査では、当調査をオンライン調査へ切り換え可能かどうかを調べてみました。集計結果からは、まだオンライン調査への切り換えは難しいようです。

問12 可能なアンケート回答方法

（複数選択可での選択数）



（注）「QRコード」は、スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答する方法。「HP」は、スマートフォンやPC等で、県労福協ホームページの「アンケート回答コーナー」から回答する方法。「紙の調査票」は、従来通りアンケート調査票に回答し返送する（組合提出する）方法。

問13 希望するアンケートの回答方法

（1つ選択可での選択数と％）

